

# UDCM ツアーのご紹介

松山アーバンデザインセンター（UDCM）の仕組みや取り組みを中心に、松山の中心市街地で進んでいる様々なまちづくりの取り組みをご紹介します。下記のプログラムからご希望に合わせてお選びください。いずれも事前予約制となっております。なお、UDCM が運営を行っている「もぶるラウンジ」はガイドなしでご自由にご見学が可能です。

## レクチャー編

UDCM の仕組みや取り組みについて、スライドを用いてご紹介します。

|     |                             |
|-----|-----------------------------|
| 内容  | UDCM の仕組みと取り組みの紹介           |
| 会場  | もぶるラウンジ（松山市花園町 4-9 岡田ビル 1F） |
| 時間  | 60 分程度                      |
| 対応  | UDCM スタッフ 1 名               |
| 定員  | 30 名                        |
| 料金  | 3,000 円 / 1 名               |
| 配布物 | UDCM の仕組みと取り組み説明資料、他        |

## まち歩き編

松山で進んでいる様々なまちづくりの取り組みを、実際に街を歩きながらご紹介します。2つのコースをご用意しています。ご希望のコースをお選びください。複数選択も可能です。

|     | 1. まちなかコース           | 2. 道後コース      |
|-----|----------------------|---------------|
| 時間  | 60 分程度               | 30 分程度        |
| 対応  | UDCM スタッフ 1 名        |               |
| 定員  | 10 名（10 名を超える場合は応相談） |               |
| 料金  | 2,000 円 / 1 名        | 1,000 円 / 1 名 |
| 配布物 | まち歩きマップ              |               |

両方実施する場合は移動時間  
30 分程度が加わります

## お申し込み方法

お申し込みは、ご希望日の一週間前までにお願いいたします。なお、たいへん恐れ入りますが、一月あたりの視察件数が多くなった場合には、お断りさせていただくことがございます。あらかじめご承知おきください。

お申し込み先 : [視察申込フォーム] よりお申し込みください。

必要な情報 : ① 視察団体名 ② 視察人数 ③ 視察希望内容 ④ 視察希望日時（土日休日は不可）

⑤ お支払い方法（お振込・当日現金払い・請求書払い・その他）

※領収書が必要な方は、宛名等を⑦にてご連絡ください。

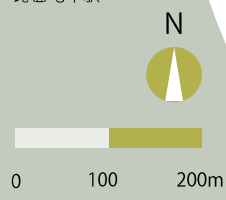
⑥ 担当者の氏名・所属・電話番号・携帯電話番号・メールアドレス

⑦ 連絡事項（視察の目的や具体的なお希望があればお書きください）

# 1 まちなかコース

凡例

- 市内線
- +++++ 郊外線
- 商店街エリア
- 公園緑地
- 重要文化財(国)
- 路面電車駅



**1 UDCM**  
都市デザイン等の専門家により構成された公民学連携のまちづくり組織。「創る」「交わる」「学ぶ」「知る」の4つの役割が活動のコンセプト。



**2 花園町通り**  
2017年、道路空間の大胆な再配分により、「歩いて暮らせるまちづくり」のシンボルロードとして甦った。土日は定期的に地元主催のマルシェイベントが行われている。



**3 松山市駅**  
1888年(明治21年)開業。四国最大の乗降客数を誇り、「坊ちゃん列車」の発着駅。駅前広場を歩行者中心に改変する計画が、2023年頃の完成を目指し進行中。



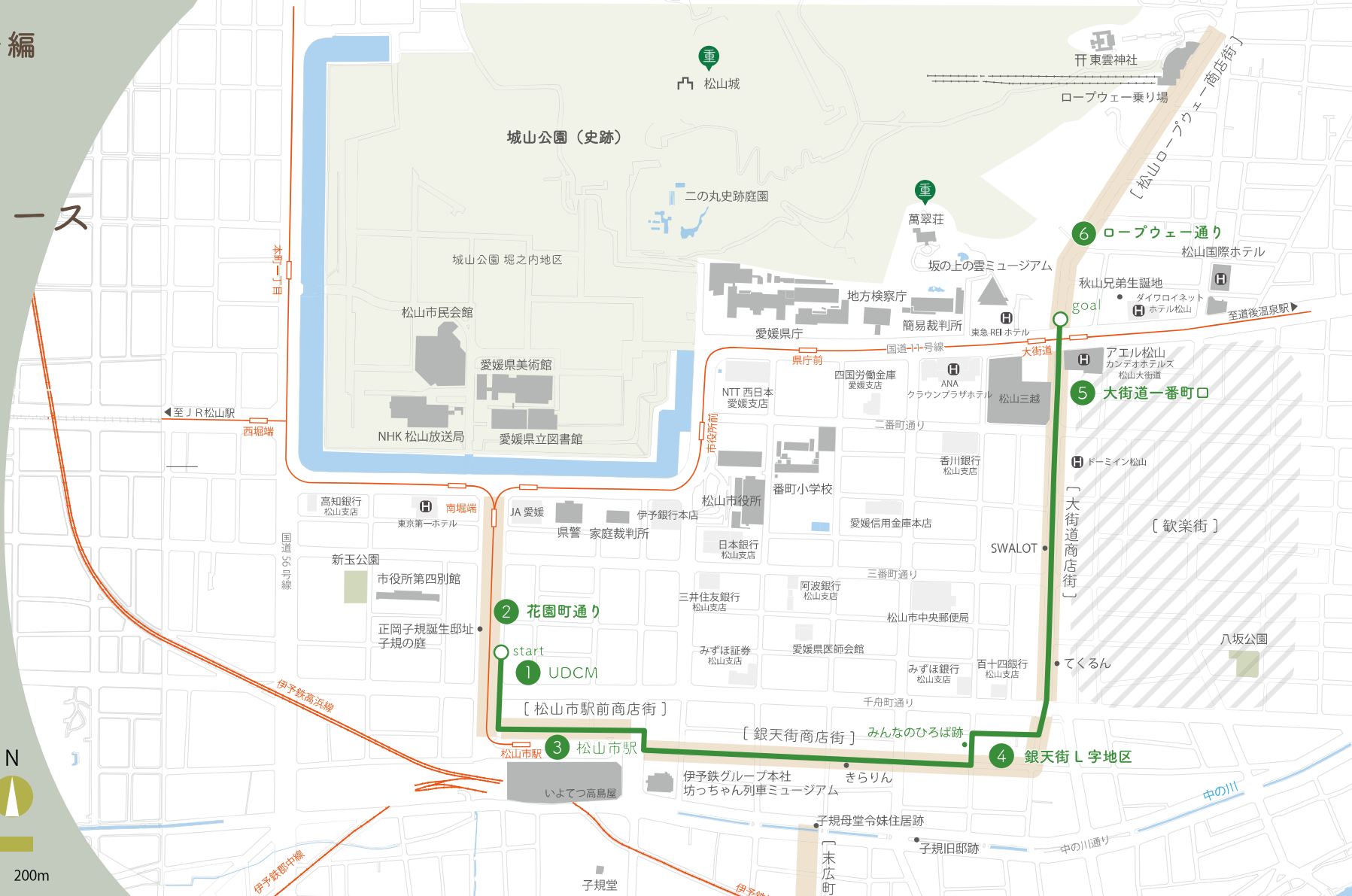
**4 銀天街L字地区**  
銀天街商店街のL字に折れ曲がる地区。松山の新たな「交流核」を目指して、愛媛県下で最初の法定再開発事業が計画されている。



**5 大街道一番町口**  
松山市民に人気の待ち合わせ場所。2015年に商店街、民間、国、市が連携してアーケードのファサードや道路整備が行われ、民間の再開発ビルが完成。



**6 ロープウェイ通り**  
車道を2車線から1車線化し、歩道幅員を拡大する道路空間の再配分を行なった。整備後1年で歩行者が3.5倍に増加。現在まで周辺地価が20%以上上昇。2006年竣工。



# UDCM ツアーまち歩き編

## 2 道後コース



### 1 道後温泉駅前

自動車と歩行者の主動線を分離し、安全な回遊動線・滞留空間（ゆとり、賑わい空間）を確保し、トランジットモールのような空間を創出した。2007年竣工。



### 2 道後温泉別館 飛鳥乃湯泉

聖徳太子の来浴などの伝説が残る道後地区にちなみ、飛鳥時代の建築様式をイメージし、県内の伝統工芸が美術館のように散りばめられた湯屋。2017年竣工。



### 3 道後温泉本館

1994年に公衆浴場として初めて国の重要文化財に指定。日本で唯一の皇族専用の浴室（又新殿）がある。2019年から約7年間にわたる保存修復工事に着手（入浴は可能）。



### 4 上人坂

坂上にある宝蔵寺が一遍上人の誕生地であることから名前がついた。上人坂の再生により道後全体の回遊性向上を目指している。



### ・伊佐爾波神社

日本三大八幡造のひとつで国の重要文化財に指定されている。当初は道後公園山麓に立地していたが、14世紀頃湯築城建設時に移転したとされる。現存社殿は1667年竣工のもの。

### ・空の散歩道

2019年、湯神社の位置する冠山に足湯や東屋やベンチ等の施設を備えた「空の散歩道」が竣工した。道後温泉本館を一望できる休憩スポット。

凡例

- 市内線
- 重要文化財（国）
- 商店街エリア
- 路面電車路
- 県道

0 100 200m

N